

資料1 展開例

過程	時間	学 習 活 動	支 援 ・ 及 び 留 意 点
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>電車に乗って、ありそ町の探検に行こう</b> </div>			
追 求 す る	15	1. 電車の乗り方を学ぶ	
		①切符を買うために、自動券売機の模型に並ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 競争しないように、劇化して児童の普段競争している姿を見せ、望ましい姿を考えさせる。</li> <li>●</li> </ul>
		②自動券売機で切符を買う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎時間、児童によって金額を変えることで、必要な硬貨、おつりを考えさせる。</li> <li>●</li> <li>● 切符、硬貨は本物を使用する。</li> <li>●</li> </ul>
		③改札を通り、列に並んでスクリーンを見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★ スクリーンには、ホームに入ってくる電車の映像・電車に乗る人の映像が流れ、より実際に近い感覚をもてるようにする。</li> <li>★</li> </ul>
		④映像の中で最後に乗車する人の背中を見ながら、電車に見立てた休憩ルームに入る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★ ぬいぐるみの先客を乗せておき、時間によって、満員で座れない空席がいくつかあるなど、現実で起こりうる状況を作っておく。</li> <li>●</li> </ul>
		⑤座席に見立てたソファに、競争せずに空いている場所に座る。座れなかった場合も騒がないで、静かにつり革に見立てた輪につかまる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★ 普段競争したり、座れずに騒ぐ児童の姿を劇化して見せることで、望ましい姿を考えさせる。</li> <li>●</li> </ul>
		⑥動画で電車の中の様子の映像を見ながら乗車している気持ちになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★ より、実際に近い感覚をもてるようにする。</li> <li>●★ 繰り返しの中で、飽きないように、両毛線、地下鉄、江ノ電など映像を変える。</li> <li>★</li> </ul>
		⑦途中下車するお客がいた場合には、競争せずに近い人が空いた場所に座る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★ 競争せず、空いた席に近い人が座ることを理解させる。座れなくても騒がずに気持ちを切り替えられたときには多いに称賛する。</li> <li>●</li> </ul>
		⑧電車が到着する映像を見た後、電車をおりる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★</li> </ul>
		⑨改札を通して、自分の机をセッティングし、町の探検の準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★ 自分から準備や行動ができている面を称賛する。</li> </ul>
る	45	2. テーマの場所を探検する。	
		①今日の探検の場所を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★ 金色に輝く「魔法の絵本」のポケットから当番の児童が探検する場所のカードを引くことで、楽しみや期待感をもたせる。</li> </ul>
		②今日の探検の場所の町の中の位置を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★ 今まで学習した場所を絵地図にして貼ってあるホワイトボードに、テーマの場所のカードを貼らせる。</li> </ul>
		③テーマの場所を探検する。 (1) 時計を合わせる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★ 教室にある時計と同じ実物大の時計の長針を回して時間が変わることに合わせて。</li> </ul>
		(2) 見付けたこと、発見したことを言葉や文にする。  * 午前2時～午後12時まで、2時間おきの11場面を見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★ テーマの場所だけを切り取り拡大して、時間ごとに綴ったミニ絵本に書き込んでいく。(左ページが絵、右ページにマス目)</li> <li>●★ 見付けにくいときや、共通理解しておきたいときは拡大し、投影された画像も見ながら、その時間、その場所の生活の様子を言葉や文にして味わわせる。</li> <li>●★ つかみづらい人間関係については、あらかじめ説明しておく。</li> <li>●★ 見付けて書こうとすることを称賛し、助詞の使い方や正しい表記の仕方について、様子を見ながら修正の言葉がけをしていく。</li> </ul>
深 め る	20	3. テーマの場所や仕事に関する動画を見て、身近な社会に関心をもつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★ 想像を広げより現実に近いものとして感じられるための助けとする。</li> </ul>
		①今日のテーマに出てきた仕事についての動画を見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★ インターネット（ジョブジョブワールド）の仕事についての説明の動画「何かな」を見る。</li> <li>●★ 内容を1度でつかみにくい場合は、メモをとりながら、もう一度見せる。</li> </ul>
		②今日のテーマに関連した、身近な動画を見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★ 身近な場所や、知っている担任が写っている動画を見せることで、絵本の世界と、現実の世界の結びつきを感じさせる、興味をもって周りを眺められる姿勢を養う。</li> <li>★</li> </ul>
		③動画と絵本で共通な絵や画像があったら照らし合わせて考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★ 拡大した画像や、一時停止した映像などで、共通理解を図る。</li> <li>★</li> </ul>
		④今日のテーマであった仕事の内容について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★ 児童は実際に見た映像だけを伝えることが多いので、ポイントをまとめて教える。</li> <li>●★ 得たお金で生活していることを伝え続ける。</li> </ul>
振り 返り	10	⑤ 見学の場所につながるものは、聞いてみたいことや知りたいことを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★ 思いつかない場合にはこちらから投げかけ考えさせて、聞きたいという気持ちをもたせる。</li> </ul>
		18. 自分で作ったミニ絵本の一日のストーリーを読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●★ 活動を振り返りながら、一日の流れを味わわせる。</li> </ul>



写真8



写真9

●模擬体験

★映像の利用

**資料2 映像の利用**

①電車に乗る活動に関する動画の内容					
場面	インターネット	身近な場所で撮影した動画	豆腐や	豆腐やの仕事	
切符を買う		前橋駅自動券売機での買い方	駅	駅員の仕事 駅構内係の仕事	前橋駅・駒形駅の様子
駅・改札		前橋駅	レストラン	レストランの仕事 中華料理店の仕事	レストラン「メルカート」厨房の様子（皿洗い・ピザ生地作り・調理）・インタビュー
電車の乗り方	G-TAK		そば・新聞店	そば屋の仕事 新聞店の仕事	
電車の中の様子	G-TAK	両毛線・江ノ電・地下鉄	寿司・やきと り・ラーメン	寿司屋の仕事	伊勢崎市、絵本に似ていたやきとりの店構え
②テーマの場所や仕事に関する動画の内容			病院	小児科医の仕事 歯科医の仕事 看護師の仕事	
場面	インターネット	身近な場所で撮影した動画	マンションに 住む隣同士		
		(ジョブ・シミュレーション)	旅館	旅館の仕事	
やおや	やおやの仕事	中央通り商店街「八百駒」 担任が買い物をする	商店街全体		担任が中央通り商店街を歩いている姿、やおや、交番、そばや、レストラン、しんぶんや、マンション、さかなや
さかなや		那珂湊の市場 担任が買い物をする			
魚市場	ザ・築地市場	那珂湊市場			
幼稚園	保育士の仕事				
交番	警察官の仕事				
パンや	パンやの仕事	パンや「くるみの森」パン作りの様子・インタビュー 児童保護者が買い物をする姿			


**資料3 数における取組**

		<b>数</b>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10の補数ができる</li> <li>・100円を10円硬貨10枚に置き換えて、10の補数を利用したおつりの考え方ができる。</li> </ul>			
方針	<p>①10の補数を表すいろいろな表現に慣れさせる。 ・○と○で10 ・10は○と○ ・10-○=○</p> <p>②10の補数を左、10の補数を利用した100の合成分解を右に書いたプリントを使用し、左右見比べながら関連に気づかせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○と○で100</li> <li>・100は○と○（10円硬貨の枚数）</li> <li>・100-○=○</li> <li>・10円硬貨10枚や、10玉ビーズを利用させる</li> </ul> <p>③楽しみながら繰り返しの練習ができるようにさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合わせて10（インターネット学習）</li> <li>・合わせて10カルタゲーム（トランプの神経衰弱）</li> </ul>			
取組	<b>教科の学習</b>		<b>生活単元(絵本)</b>	
	9/4～10/2 ①10の補数のプリント ②10の補数を利用した100円のおつりの考え方 10/17～11/29 ③繰り返し学習（インターネット・ゲーム）	9/26～12/6 ・自動券売機の学習で、100円を使ったときのおつりを考えられる。	<b>体験学習</b> ・買い物をした時に、100円を持っていて買える物、100円を払ったときのおつりを考えることができる。	
Aの 変容と 考察	指導前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10以内の大小は大体分かる。</li> <li>・10の補数は、集中的に取り組んでいた1年前は何も見ずに答えられるようになっていたが、期間が空いて、再び始めた9月の時点で全く忘れてしまっていた。</li> </ul>		
	Aの取組の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予想より早く、9月の終わりには、10の補数も100円を持っていると買える物、100円を出してのおつりも暗算で分かるようになった。</li> <li>・10/20からは、試しにやってみた10の補数を利用した繰り下がりの引き算ができるようになった。昨年度から何度か取り組んでいたが、難しいのか、泣き出すことが多く取り組みをやめていた。今回はパニックを起こすこともなく、落ち着いて取り組めるようになった。(10/20～) 数の大小から、繰り下がりが繰り下がりなしかも見分けるようになってきた。(1/29～)</li> <li>・予定外であった繰り下がりの引き算までできるようになったことは、教科の学習、生活単元学習、体験学習を組み合わせることで、教科の学習内容も高めることができたことと考える。</li> </ul>		



写真10 10玉ビーズ

資料4 時間における取組

		時 間			
ねらい	①時計の針を動かすことを通して時間の流れ、一日の流れや時間の感覚を身に付ける。 ②生活の中で時計が読める。(何時・何時半・5分おきの読み方) ③自分の生活の中で時間や時計を意識できるようになる。				
方針	・時間の流れを理解させるために、教室の時計と同じ実物大の時計の長針を動かし、長針が一回りすると短針が目盛り動き、時間に変化していくことを実感させる。 ・インターネット上にある、時刻に合わせて太陽や月が動き、周囲の明るさが変わる教材を使って、朝、昼、夕方、午前、午後を一日の流れとして意識させる。(KANZAV7) ・絵本を使っての学習で、探検する場所は変わっても毎時間絵本の時刻に合わせて時計の針を動かし、生活の様子を見つめることを繰り返して、一日の流れや時間の感覚を身に付けさせていく。				
					
	教科の学習			生活単元(絵本)	体験学習
取組	9/4～9/26 ・プリントで時刻を読む。 ・インターネット学習で針を見て、時刻を読む。時刻に合わせて針を合わせる。 ・一日の流れと時刻の関係が分かる。午前、午後、何時、何時半、生活の節目での何時何分	9/20～12/6 ・時刻に合わせて、実物大の時計の長針を動かしながら、人々の一日の様子を見ることを、テーマの場所ごとに繰り返す。	11月 ・毎日の生活の節目で、時刻を読む。 ・自分の生活の中で、時刻と一日の流れを感じる。 12/6～12/15 ・「ぼく・わたしのいちにち」の絵本作りで、自分の生活を時間とともに振り返る。(ぼく、わたしの一日絵本を作って発表し合おう)		
指導前	・4月の頃には、1時間目終了のチャイムがなる度に、「休み時間だよ。ブランコとられちゃうよ。」と騒いだり、3時からのテレビが見たくて、朝から「もう3時になっちゃう。間に合わないよ。」と泣きながら大騒ぎをして帰ろうしたりすることがあった。 ・プリントで「何時」と読むことはできていても、生活の中では時刻を読むことも時間の感覚も身に付けてはいなかった。 ・9月の初めの教科の学習では時刻は読めていても、針を合わせると長針と短針が逆になってしまっていた。 ・9/13には、朝何時に起きたかを尋ねると、「分からない。自分に聞いて。」と答えていた。				
Aの変容と考察	・絵本を使っての学習で、絵本の時刻に合わせて2時間おきに時計の針を合わせることを毎回繰り返していくうちに、4回目の10/2には、針は正確に合わせられるようになった。そして生活の中で、「何時」の意識が出てきて、読めるようになってきた。 ・次第に、2時間おきということが分かかってきて、11/14日には8時から10時へ針を動かしながら、「午前9時はないん？」と聞くようになった。 ・11月になると生活にかかわった帰りの時間、休み時間などの5分刻みの時刻が読めるようになり、「長い針が11の所、55分。」と言いながら、あわてずに教室でその時間まで待ってから外へ出ていけるようになった。 ・「ぼく、わたしのいちにち」の絵本作りの時に、「俺は、〇時に起きる。」「〇時にご飯食べる。」と言えるようになった。 ・日常の行動の中に時刻の意識が少しずつ芽生えてきたと考えられる。				

資料5 マナーにおける取組

		マ ナ ー			
ねらい	①人に迷惑をかけない。いやな思いをさせない。 ②自分の思いどおりにならないときに気持ちを切り替えられるようになる。 ③実際に電車やバスに乗ったり、校外へ出かけたりしたときにマナーを守って行動できる。				
方針	・起こりうる競争の場面や、思いどおりにならなくて騒ぎだしそうになる場面を意図的に作り、気持ちの切り替え方を学ばせる。 ・実際に競争したり、騒いだりしている児童の姿を教師が寸劇にして見せることで、望ましい姿を考えさせる。 ・実際の状況に近い場面を体験させるために、模型や映像を利用したり、場面の設定を工夫したりする。				
	教科の学習			生活単元(絵本)	体験学習
取組	・場面に応じて、望ましい行動を伝えできたときには称賛する。	9/20～12/6 ・切符を買う、電車に乗る場面で、意図的に競争や葛藤が起こる場面を作り、我慢や気持ちの切り替えをしながら、望ましい行動がとれるようにする。	11/7・11/10・11/22 ・遠足に出かけるための、駅や電車、商店街に出かけるためのバスやお店の中で、ルールやマナーが守れるようにする。(遠足のお菓子を買いに行こう・電車に乗って遠足へ行こうバスに乗って商店街の探検に行こう)		
指導前	・楽しみにしている目的があるときには、ある程度守ることができるが、目的を達成した直後から、どこまで許されるか試して、わざと人が不快になるようなことをしたり、威張ったりする。 ・相手の反応がおもしろくて、つい、やっと思い謝るが、また同じ繰り返しをしてしまう。 ・行事の時には、比較的、確認をとりながら望ましい行動をとることができる。				
Aの変容と考察	・Aは競争する気持ちはなくなったわけではないが、あからさまにその気持ちを出すことは以前より少なくなっている。 ・電車の学習の準備の時には全員が座れなければ納得がいくのか、ぬいぐるみを使って先客が満員で座れない状態にすることが多かった。 ・遠足の前日には、座りたい願望から「明日、電車満員じゃないよ。」と言っていた。当日には途中で空いた席を真っ先に見つけて、自分から座り、静かにいられた。 ・絵本を使った電車の学習ではどの活動も落ち着いて、マナーを守れていた。 ・普段、教室の中ではまだ人に迷惑をかけたり、いやな思いをさせてしまったりすることがあるが、校外学習に関しては、事前に学習するとそれを守れることが多い。 ・今までは、出かけた先でもひとりごとをつぶやいたり、反応を確かめるためにわざと大きな声を出したりすることがあったが、今回、駅の待合室で声も出さずに静かに座り、自動販売機で買ったジュースを飲みながら静かに待つことができたことは大きな変化だった。 ・友達の様子や教師の寸劇を見て、望ましい行動がかなり分かるようになってきている。				

